

第1回 あづみ野分教室とフルーツコース生との果樹栽培交流

晴天のもと、6月29日（月）に第1回あづみ野分教室との果樹栽培体験交流会を実施しました。今回の体験内容はブドウの摘粒です。

今年度、最初の交流会のため、まずはプロジェクターを使って11月までの全5回の交流内容の説明をした後、両者の交流を深めるため、ネームプレートづくりをしました。この間、司会や年間の交流内容を説明、ネームプレートづくりの補助等をしましたが、普段は人に教えることがないためとても貴重な体験をやらせてもらい、私たちもとっても勉強になりました。

互いの距離が縮まったところでいよいよブドウ園に移動し、粗摘粒作業を体験してもらいました。粗摘粒作業はとても難しく、私たちも練習はしたといえども教えるのに苦戦する場面があり、分教室の皆さんに呼ばれて「これでいいですか」などと出来具合を確認された際は判断に迷い、考えてしまう場面もありました。しかし、分教室の皆さんが楽しそうに作業をしてくださる姿を見て、私たちも自信を持って次の作業に移ることができました。

作業が終わった後は、お楽しみのブルーベリー食べ比べです。今回は4品種を用意し、食べる前にどの品種がおいしいと思うか問いかけると、大粒のチャンドラーと大多数の皆さんが答えましたが、食べてみると比較的小粒のブルーレイの方が美味しいと9割以上の皆さんが答え、見た目には迷わされてはいけないと話される方が多数いらっしゃいました。

第1回交流会は何とか終了しましたが、今回の交流で運営面での反省点が多数見つかりました。私たち高校生で話し合い、次回はより良い交流会になるようにレベルアップしていきます。分教室の皆さん、笑顔で交流会に参加してくださり、ありがとうございました。次回の交流会を楽しみにしてください。



年間交流内容説明



班ごとにネームプレートづくり



粗摘粒の実演



作業の様子



ブルーベリー4品種の食べ比べ

